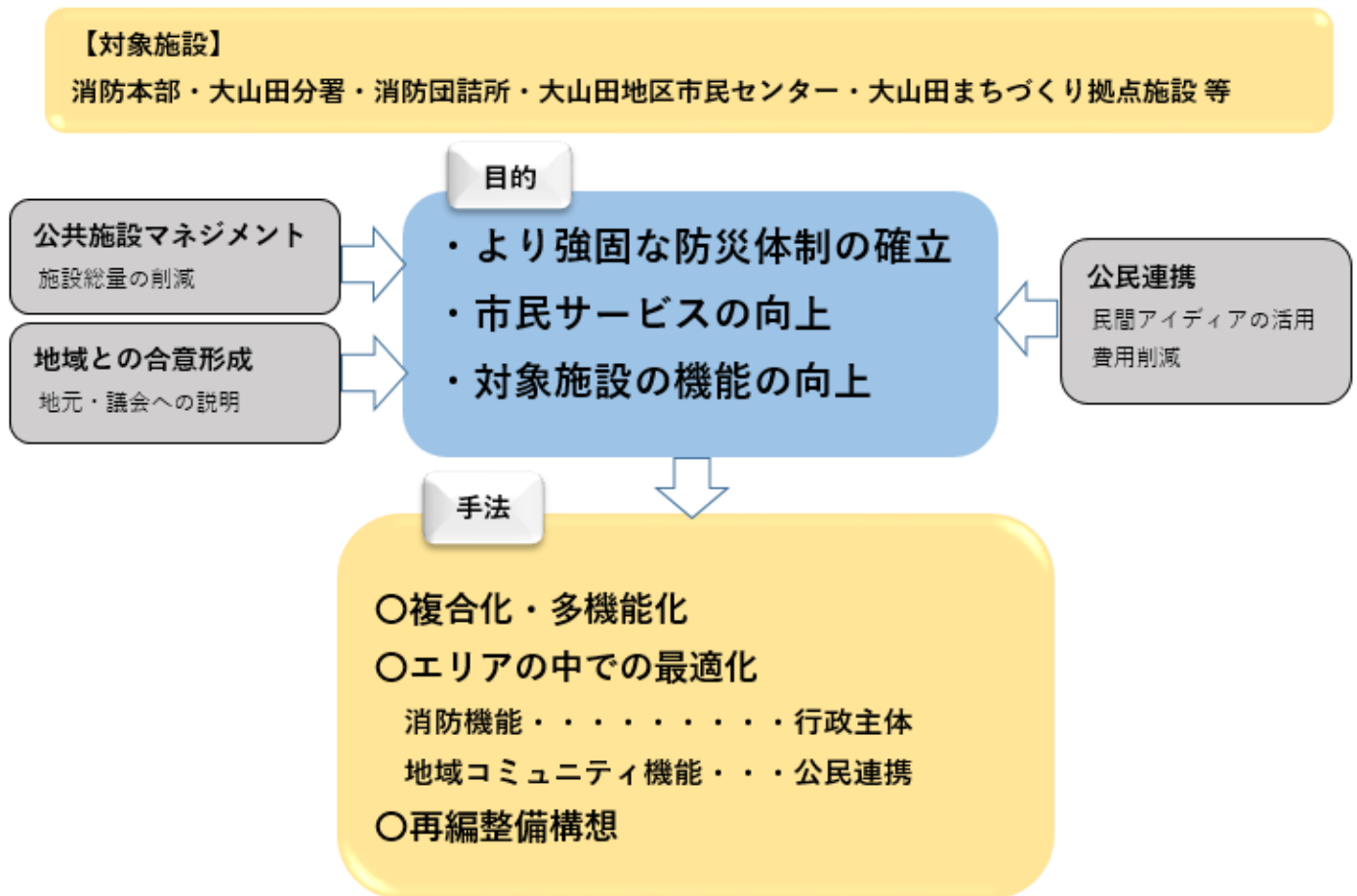


消防庁舎等再編整備構想(案)について

R2. 10. 14 全員協議会

● 消防庁舎等再編に向けた考え方について



● 消防庁舎等再編整備構想（案）の概要

I. 再編整備の背景と目的

1. 再編整備の背景

平成 25 年度三重県が公表した南海トラフ巨大地震における桑名市の津波被害想定において、現在の消防本部庁舎付近は 2m から 5m 位の津波浸水地域に指定されています。また、令和 2 年 8 月に三重県が公表した高潮浸水想定において、現在の消防本部庁舎付近は、5m から 10m 位の浸水区域であり、一週間以上浸水が継続するとなっており、災害拠点となる消防本部の高台移転が必要になり、現在の消防力を低下することなく最適な移転先等を検討した結果、大山田分署の周辺において、消防本部の高台移転を含めた消防庁舎再編を進めていくこととなりました。

2. 再編整備の目的

施設の現状を鑑み、「消防本部の高台移転」「大山田分署の老朽化」「大山田地区市民センターの老朽化」等の課題を解決するために、再編整備が必要となっています。

このようなことから、「桑名市総合計画」等に対する整合性を踏まえ、基本方針や施設整備方針、必要とされる機能等を明確にし、桑名力を発揮して持続可能な施設の建設を進めていく上での基本的な考え方を取りまとめた「消防庁舎等再編整備構想」を策定し、再編整備を進めていきます。

II. 消防庁舎等再編整備 基本方針

1. 消防本部の高台移転
2. 消防力の堅持
3. 消防団の充実・強化
4. 利用しやすい行政窓口
5. 人と情報が集まる多様な用途に使用できる場づくり
6. 災害時の避難所としての活用
7. 交通の要所を踏まえた整備
8. 公共施設マネジメントの視点
9. 公民連携の視点

III. 施設の必要性と基本機能（必要とされる機能）

1. 桑名市消防本部・桑名市消防署大山田分署・桑名市消防団桑名方面団第 14 分団車庫兼詰所
2. 大山田地区市民センター・大山田まちづくり拠点施設
3. 共用できる機能

IV. 消防庁舎等再編の考え方

1. 整備エリア

整備エリアには、大山田地区市民センター・大山田まちづくり拠点施設・桑名市消防署大山田分署・桑名市消防団桑名方面団第 14 分団車庫兼詰所・大山田第三広場があります。また、西側に UR 都市機構大山田団地、北側に大山田第三公園、南側に大山田コミュニティプラザ、銀行、郵便局等商業施設があり、大山田団地の中心に位置します。

2. 跡地利用

「桑名市公共施設個別計画ガイドライン」の「見直し順序のルール」に従い、消防本部2、3階及び大山田分署の跡地利用を検討する必要があります。

3. 整備手法等

行政だけではなく、市民との協働のほか、民間団体、民間事業者のノウハウを生かした公民連携の手法を取り入れた整備を進めることで、市民サービスの向上を目指していく必要があります。

V. 消防庁舎等再編の施設整備方針

1. 災害拠点となる施設
2. 複合化等による効率的な施設
3. 市民に関かれた施設
4. 環境にやさしい施設
5. 機能的な施設
6. 経済的な施設
7. 将来を見据えた変化に対応できる施設

● 今後のスケジュール（案）

令和2年10月	「消防庁舎等再編整備構想」策定
令和2年度～令和3年度	整備に向けた事前準備
令和4年度～令和5年度	実施設計・建設工事
令和6年度	供用開始